

**「いばらきフードロス削減プロジェクト」
 今月はフードロス削減月間です
 「マッチング支援コーディネート窓口」を活用しフードロス削減に取り組む
 事業者様をご紹介します！**

フードロスは、環境悪化や食料危機への重要な課題です。

本県では、6月からフードロスを抱える事業者とフードロスを活用したい事業者の需給状況を調査しています。その結果を「マッチング支援コーディネート窓口」で活用し、相談者の意向を踏まえて、フードロス削減に向けたマッチングに取り組んでいます。

つきましては、下記のとおり、当窓口を活用いただいた、フードロス削減に取り組む事業者様をご紹介します

引き続き、窓口の利用を推進し、なお一層、食品の有効活用や企業の廃棄コスト削減等を支援してまいりたいと考えております。

記

○ 「みずほの村市場牛久店」(農産物直売所 牛久市)の取り組み

[内容]まだ新鮮で食べられるのに、葉先が黄色くなったり、賞味期限が近くなった等の理由で、店頭から下げた農産物や調味料等を、「つくば子ども支援ネット(つくば市)」等つくば市内や近隣市町のこども食堂に提供

[提供回数]週3回(8月から提供)

[フードロス削減実績]約300kg(8~10月(予定含む))

[取材可能日]毎週水曜 13時~14時 店頭で対応

[その他]日頃から生産農家と連携し、市場に出回らない農産物の収穫体験などを企画し、地域を巻き込んだフードロス削減に努めている。

[店長菊地様の声]

- ・新鮮野菜を売りにしているため、まだ食べられるのに店頭から下げざるを得なかった農産物を、こども食堂の皆さんに召し上がって、喜んでいただけてうれしい。廃棄コスト削減にもつながっている。
- ・食品を扱う者として、これからもフードロス削減に取り組んでいきたい。

[「つくば子ども支援ネット」山内様の声]

- ・物価高騰の中、定期的に食材を寄付いただけるのは大変ありがたい。



↑ 寄付いただいた野菜を入替るつくば子ども支援ネットの皆さん



↑ 今回のマッチング関係者の皆さん

○ 有限会社押木養鶏場(農場・卵直売所 龍ヶ崎市)の取組み

[内容] 需要を超える生産となった鶏卵を、「つくば子ども支援ネット(つくば市)」等つくば市内や近隣市町の子ども食堂に提供

[提供時期] 8月・10月

[フードロス削減実績] 鶏卵 7,680 個 (約 2000 個予定含む)

[取材可能日] 10/19(水)・10/26(水) いずれも 14 時～15 時直売所で対応

[その他]

・フードロスを削減するために、市場に出せないまだら模様や不ぞろいな大きさの卵を店頭で安価に販売するほか、加工店等に提供

[取締役押木様の声]

- ・これまでも、廃棄しないよう、従業員やご近所の皆さんに提供していたが、こども食堂の皆さんに寄付することで喜んでもらえてうれしい。
- ・これからも工夫して、フードロス削減に取り組んでいきたい。

[「つくば子ども支援ネット」山内様の声]

- ・押木様の卵は、栄養価も高く、日持ちするので、使いやすい。
- ・卵は、これまで購入していたので、物価高騰の中の寄付は大変ありがたい。



↑ 鶏卵 960 個を寄付



↑ 卵を積み込むつくば支援ネットの皆さん

[連絡先]

取材される場合は、事前にご連絡をお願いします。

- みずほの村市場牛久店(牛久市女化町 1098-4) 店長 菊地 様[TEL:029-879-7131]
- 有限会社押木養鶏場(龍ヶ崎市貝原塚町 2971) 取締役 押木 様[TEL:0297-62-6485]
- つくば子ども支援ネット(つくば市松代 1-4-11)代表 山内 様[TEL:070-4451-6328]

[参考] 「マッチング支援コーディネーター窓口[県委託事業]」

常陽産業研究所地域研究部(水戸市三の丸 1-5-18) 担当: 櫻山様[TEL:029-233-6734]

- ・フードロスを抱える事業者と活用したい事業者の相談を受け付けています。
- ・廃棄コスト削減や食品の有効活用への支援をしています。[チラシ別添]